OUKA
The University of Osaka
Institutional Knowledge Archive

Title	平成6年度事業報告
Author(s)	
Citation	癌と人. 1995, 22, p. 16-17
Version Type	VoR
URL	https://hdl.handle.net/11094/23888
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

https://ir.library.osaka-u.ac.jp/

The University of Osaka

平成６年度事業報告

㈶大阪癌研究会

１．一般学術研究助成について

本年度も癌に関する学術研究を奨励助成するため公募したところ全国から31名の応募者があった。

一般学術研究助成選衡委員会（委員長豊島久真男－大阪府立成人病センター総長他４委員で構成）で慎重に検討され，理事会で決定された助成対象者は下記のとおり12名であった。

２．がんの知識普及活動について

「癌と人」の会誌21号を刊行し配布した。また，癌の知識の普及活動にあらゆる面から鋭意努力した。

平成６年度「一般学術研究助成金」助成対象者

氏　名	所属機関	研究テーマ
左　建平	大阪大学医学部バイオメディカルセンター腫瘍発生部門	IL－12による担癌宿主抗腫瘍Ｔ細胞応答能の増殖と腫瘍拒絶
関口清俊	大阪府立母子保健総合医療センター研究所	癌細胞形質発現におけるフィブロネクチンマトリックスの役割：ドミナントネガティブ変異分子を利用した解析
西村泰治	熊本大学院医学研究科免疫識別学講座	癌の免疫療法を目指したHLA結合性癌特異的ペプチドによる抗腫瘍免疫応答の誘導に関する研究
河野嘉文	徳島大学医学部附属病院小児科	純化末梢血幹細胞（CD34陽性細胞）を用いた小児癌治療の確立
近藤　玄	大阪大学遺伝情報実験施設	遺伝子導入・遺伝子欠損マウスを用いた腫瘍悪性化モデルの開発
安保　徹	新潟大学医学部医動物学講座	胸腺外分化Ｔ細胞に限定して存在する自己応答性禁止クローンと抗腫瘍免疫における役割
加藤淳二	札幌医科大学医学部内科学第四講座	P 53とSodium butyrateを用いた癌の遺伝子治療

氏　名	所属機関	研究テーマ
浅井昭雄	東京大学 医学部附属病院 脳神経外科	悪性グリオーマ細胞におけるアポトーシス関連遺伝子の単離同定
新田泰三	順天堂大学医学部 脳神経外科	バイスペシフィク抗体を用いた悪性グリオーマに対する特異的免疫療法に関する研究―新しい癌免疫療法の可能性―
堀井　明	東北大学医学部 病理学第一講座	膵臓癌発生に関与する癌抑制遺伝子の局在の解明ならびにその単離へ向けての研究
三橋紀夫	群馬大学医学部	放射線誘発アポトーシスと照射効果との関連に関する放射線感受性の異なる2つの培養細胞株 （NMFIならびにNMT－IR）を用いた基礎的検討
本行忠志	大阪大学医学部 附属病院	Cold SSCP（Non-Radioactive Single Strand Conformation Polymorphism）法を用いた癌の［1］術前・術中組織生検および細胞診材料による遺伝子変異解析および［2］同一パラフィン切片上の異なる組織像の遺伝子変異解析